

19m09  
教育方法論m  
解答例



# 1 学習をめぐる3つの理論

教育方法論 m 第 回

学習をめぐる  
テーマ「3つの理論」 班 番号

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要点●

学習は「さまざまな経験によって行動や心的構造に比較的永続的な変化がもたらされる」ととらえる。  
ポイント1) ① 連合説 → 刺激と反応の間に新しい結びつきが形成されること  
② 認知説 → 主体が外的環境をとらえるための内的な枠組みの変化  
③ 状況理論 → 集団が行う実践に対する個人の参加の仕方の変化  
④ 学習の諸理論は発達論とも関連性をもっている

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から

全体の要点●

ポイント1) 学習に対して「生涯にわたる学習の基盤が培われるよう、基礎的な知識  
2) 及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要  
3) な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む  
4) 態度を養う」

(3) その他のネット資料から長所・短所

全体の要点●

ポイント1) 学習理論は、各教科を原点に立ち返らせると共に、現代の子どもの  
2) 実態に即した改革の契機を含むものであると考えられている。  
3)  
4) 学習理論を援用した学習活動を展開することで、子どもの人間形成にも有効に  
作用すると考えられる。

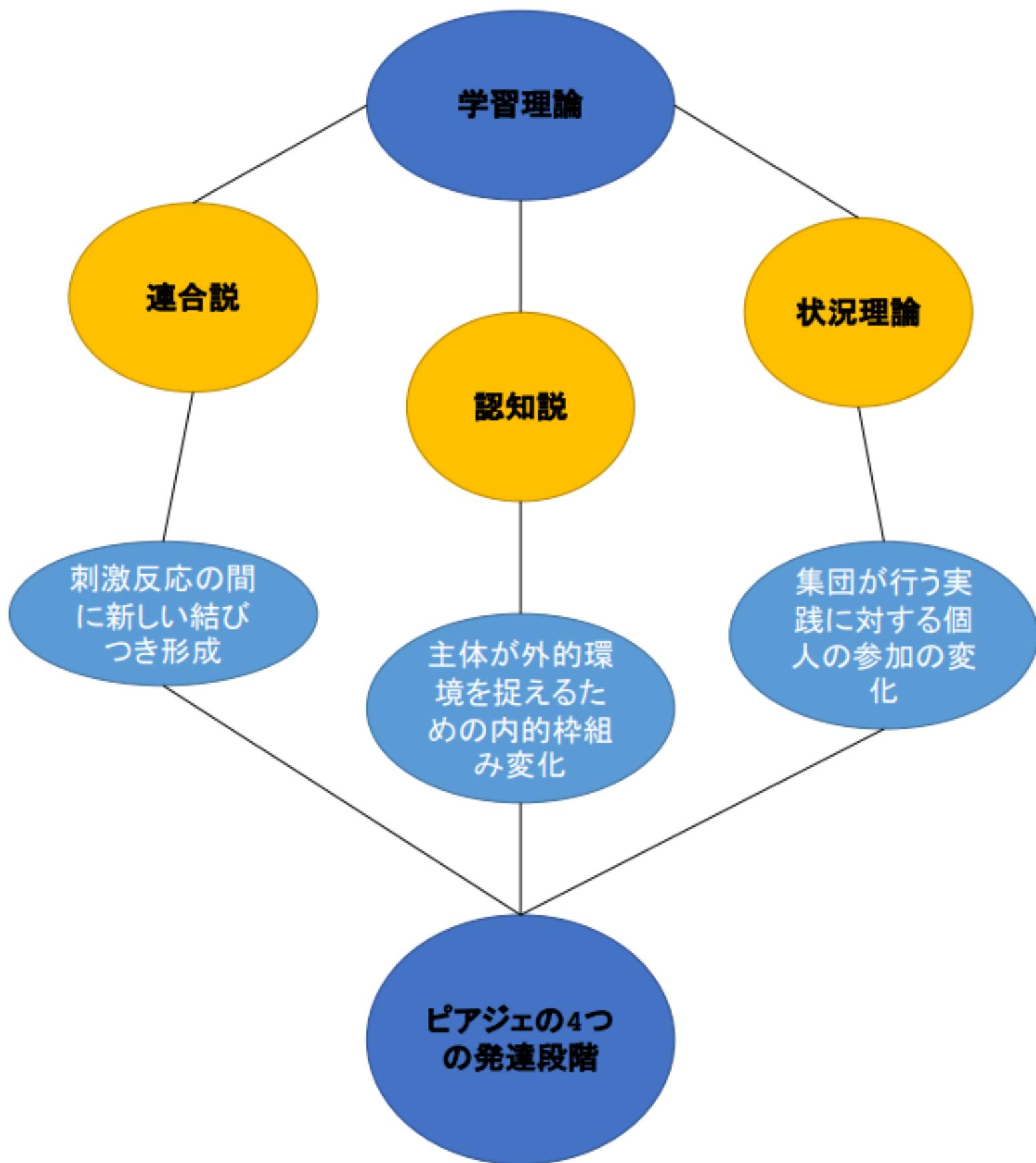
(4) 自分の意見

全体の要点●

ポイント1) 3つの学習理論と発達論のつなぐ重要性を重要にする  
2)  
3) 学習理論を援用することで子どもの人間形成に有効  
4)

(5) 出典(文献名、url等)

- (1) 文部科学省(2017). 「中学校学習指導要領解説」. pp.1-6.
- (2) 文部科学省(2018). 「高等学校学習指導要領解説」. pp.1-6.
- (3)



# 2学習理論に基づく学習方法

教育方法論 第9回 テーマ「学習理論の基づく学習方法」

## (1) 「新しい時代の教育方法」より

子どもたちに学習させるには様々な学習方法があり、学習を分解して教授するのか、先に前提知識を教授してから新規知識を教授するなど様々な方法があり、実際に現代でも形は変えているが、使われて教授されている。

ポイント)

- ・スキナーは学習を単純な行動の連鎖の習得に分解できると考え、プログラム学習を考案した
- ・学習の知識を伝達するのではなく、その知識の現象の科学的説明を主体的に見出すことが重要であるとした発見学習をブルナーによって提唱され、日本では、仮説実験授業を展開された
- ・子供たちが持つ既存知識と学習しようとする新規知識を先行オーガナイザーから示し新規の内容が進められるという有意味受容学習をオズベルによって提唱された

## (2) ネット資料から(長所・短所等)

行動主義とは「A なら B の行動をする」のようなもののオペランド条件を教育に応用しており、褒めて伸ばすようなことで教材を用意するのだが、受け身系のものでなってしまう、結果社会に求められる人物に成長させることができるのが問題となる

ポイント)

- ・行動主義である連合理論は、これからの社会に期待される高専教育には限界がある
- ・「行動修正・行動変容の技法」はオペランド条件の応用例だが、応用だけにあって第三者が本人の癖を修正しようとするには限界がきてしまう
- ・修正しようとしても、社会倫理などの別の心理学を学ぶ必要がある

## (3) ネット資料から(長所・短所等)

学習には、学習者の周囲の環境が影響されるという考えがあるが、実際は学習者の自発的かどうかの問題である。しかし、どのようにすれば、主体的に学習させるようにするのかを考えなければいけないのが問題である。

ポイント)

- ・自己調整学習は、「環境が悪いから」や「親が賢いから」などの理由ではなく、学習者が持っている能力を発揮するための自発的なプロセスが影響しているという考え
- ・学習者自身が主体的に取り組むかがキーになる
- ・ジーマーマンは主体的やその実態について明らかにしようとした理論がこれである

## (4) 自分の意見

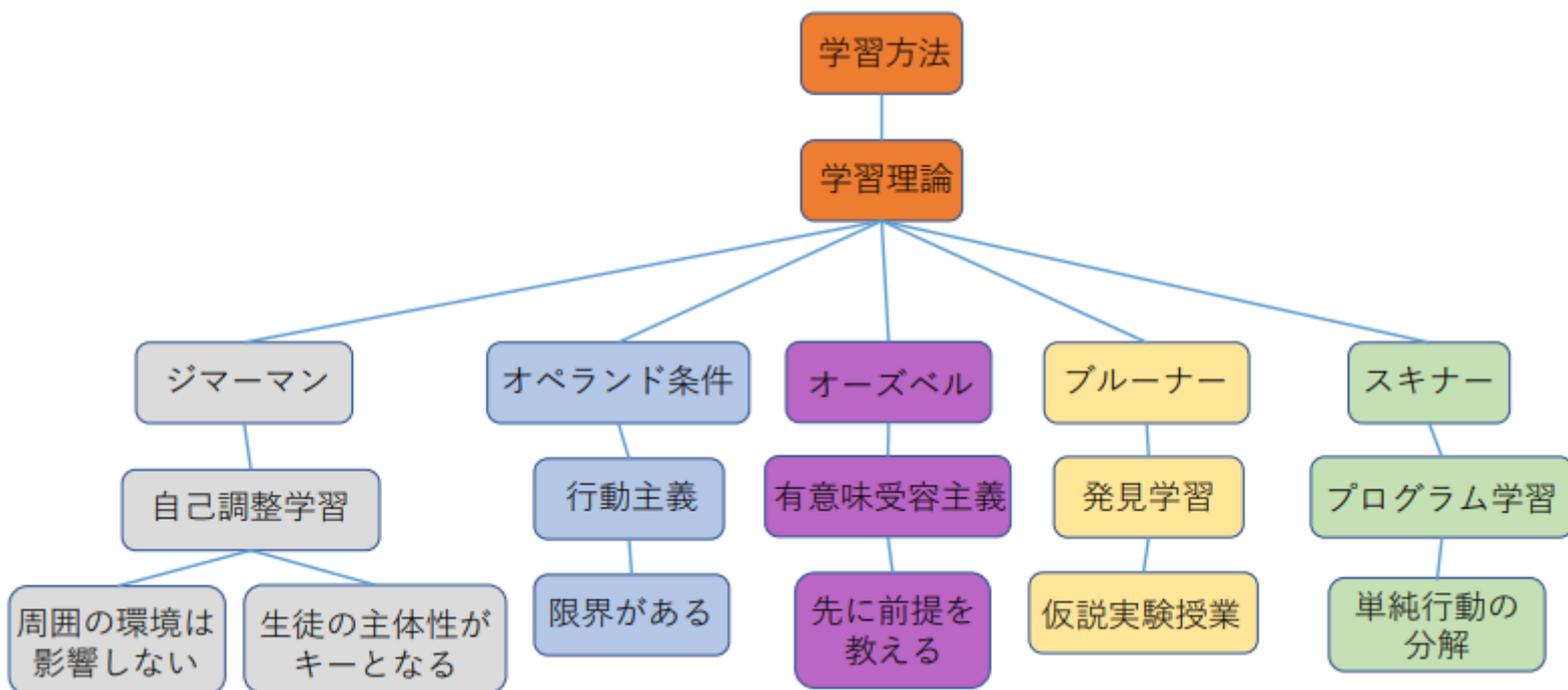
様々な学習方法が存在するが、その学習方法を選択するのは生徒である。しかし、主体的でない生徒にあった学習方法を選択させるには問題があるため、その生徒の実態を明らかにしていくべきである。

ポイント)

- ・ポイント同士を繋げて学習することは良いと考えるが、この学習のしすぎは良くない
- ・環境が悪いからという考えを持っていることもたちをうまくアプローチして学習方法を定着させるべきなのかを考えなければならない

## (5) 出典(参考文献、URL 等)

- ・「新しい時代の教育方法」 pp.130 ~ pp.132
- ・自己調整学習とは? -SRL 研究会 (URL : [http://srl.main.jp/?page\\_id=108](http://srl.main.jp/?page_id=108) 2019/11/24 参照)
- ・授業づくりの土台となる理論 -PBL (URL : <http://manabi-ken.com/pbl> とアクティブラーニング/高専における実技教育の研究/3-1%E3%80%80 授業づくりの土台となる理論/ 2019/11/24 参照)



# 3学習における他者の役割

教育方法論 m 第 回

テーマ 学習における他者の役割 班 番号 名前

(1) 「新しい時代の教育方法」から  
全体の要点●

- ポイント 1) 注意、記憶、概念形成などの高次精神機能は最初は個人間の社会的関係の中で精神  
間機能として出現し、それが個人の精神内機能へと時間とかけついでいく。  
2) 最近接能者領域とは、そのことが解決する水準と、それからの補助能者とは、仲間との協同で  
3) 解決できる水準との差がある。  
4) スキーマ形成とは、おとどろきにも影響を行い、それによって個人で解決し、問題を独自に解決する。

(2) 「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から  
全体の要点●

- ポイント 1) 対話によって自分の考えをより深めたりする場面が必要  
2) 高度な社会問題や、よくわからない学習者動機だけが対話的な学習ではない。  
3)  
4)

(3) その他のネット資料から長所・短所  
全体の要点●

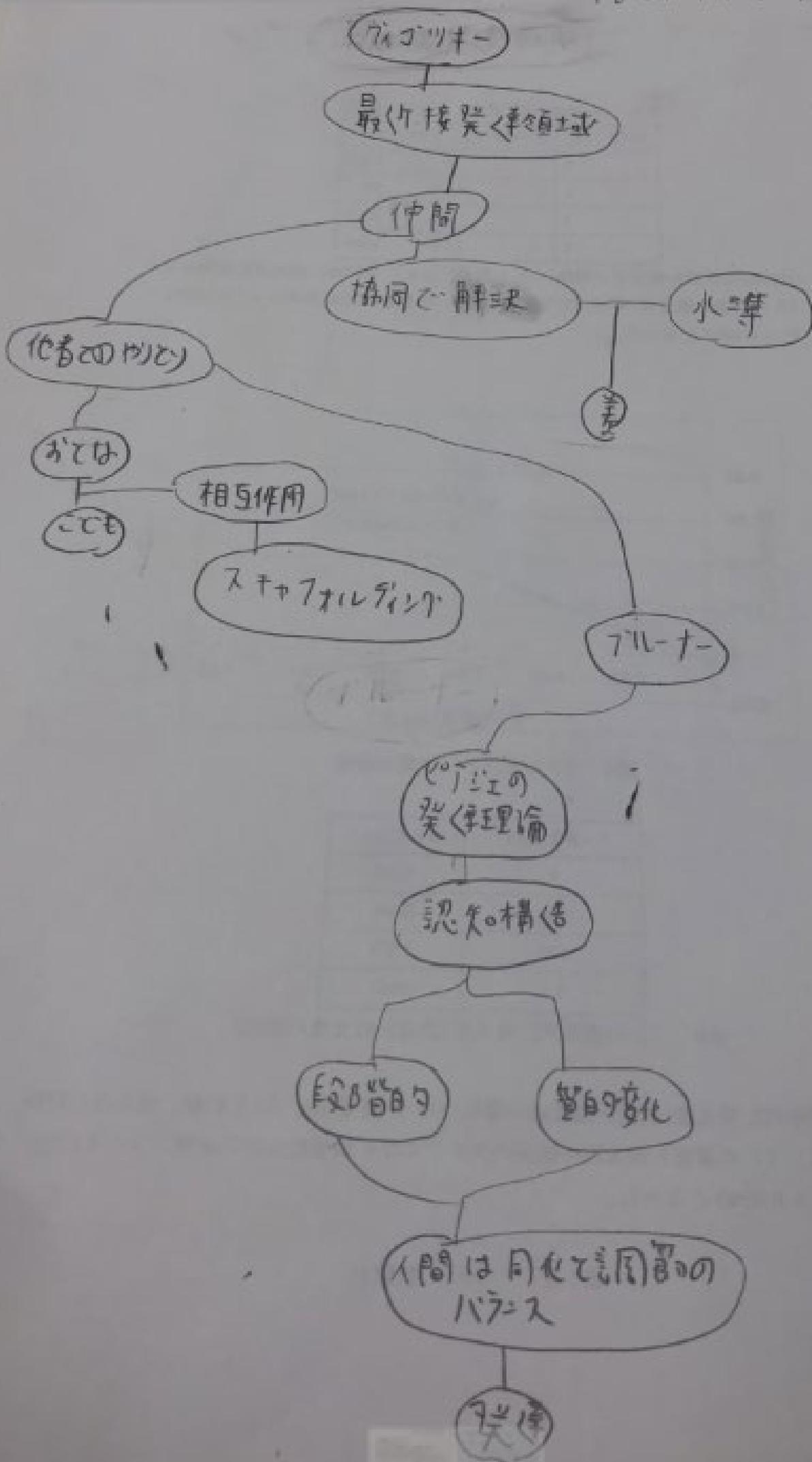
- ポイント 1) 学習において、常に主体的に取り組むことは困難なので、自身で解決し、それを効果的に評価  
2) することが必要である。  
3) 対話的な学習を促進するためにも、他者との学習における有機的役割の役割に力を入れる必要がある。  
4)

(4) 自分の意見  
全体の要点●

- ポイント 1) 自己のことにおいても、独学自力で学ぶことは無理なので、他人は必要不可欠  
2) 学習のモチベーションをあげるために、他人に求める場合もある。  
3)  
4)

(5) 出典(文献名、url 等)

- (1) 文部科学省(2017). 「中学校学習指導要領解説」. pp.1-6.  
(2) 文部科学省(2018). 「高等学校学習指導要領解説」. pp.1-6.  
(3)



# 4ICT活用例

## ICT 活用例

### 1. 単 元

数学(ICT 活用とアクティブラーニングの視点)、中学 3 年生

### 2. テーマ

中点連結定理

### 3. ICT 活用のねらい

- ・アクティブラーニングの 3 つの視点(主体的な学び、対話的な学び、深い学び)から ICT を活用する。
- ・新たな疑問や問いを発して考えを深めたり、対話や議論を進めること。
- ・GeoGebra を活用して学びを深める。

### 4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
「中点連結定理の活用」(第 3 学年)を題材とした GeoGebra の活用事例	ICT 活用の手順 ○導入 ・問題で与えられた四角形がどんな四角形になるか調べる。 ・四角形を変形させても成り立つかどうかを調べて、グループで話し合う。 ○展開 ・証明を考える。 ・考えた証明を共有する。 ・四角形を変形させると元の四角形はどのように変化するかを、変形させた四角形の条件を考える。 ○結末 ・元の四角形の辺や角は、変形後の四角形のどの部分に関係していると言えるかを考え、グループで話し合う。  イメージ図など どんな四角形ができるか。 そのときの四角形の条件は、 平行四辺形⇒どんな時でも 長方形 ⇒対角線が垂直のとき ひし形 ⇒対角線の長さが等しくなるとき 正方形 ⇒対角線の長さが等しくて垂直になるとき	○生徒が数学的活動に主体的に取り組むことを大切にするとともに、言語活動の充実を目指す。  ○教科書にはコンピュータを使って効果的な学習ができる。
備考	使用教科書 中学 3 年生の数学教科書 準備物 パソコン、筆記具、紙 授業形態と工夫 パソコンを使用しての授業。主にグループワークで授業を進める。	

### 5. 出典・参考等

- ・file:///C:/Users/Owner/Downloads/jcrc-n17P011-019.pdf

# ICT活用例



# 5 確認問題08

## 確認問題 08

(1) 学校の時間割にみられる「アセンブリラインとしての時間」の特徴を3つ挙げよ。

- ・ 方向性・連続性
- ・ 均質性
- ・ 細切木の分断

(2) 次の勝田守一の「実践記録をどう評価するか」に関する文章の空欄を埋めよ。

そこでは、第1には、「実践記録」とは教師の生活綴方、生活記録であり、(教育実践)を中核にして、そこにぶつかる問題や矛盾やそれへの(克服)の営みをすべて含み、さらに人間としての教師の(主観)を反映するものでなくてはならないとした。第2に、その表現形態としては、記録であるかぎり、「強調と(省略)」があり、それゆえの「(文芸性)」をもつ。しかし、それは文学ではなく実践の(事実)の記録であり、より本質的には「実践記録」は主体的感性的な認識を(理論的)に抽象化するものではなく、(形象化)するを通して真実を語ろうとするものであると指摘した。そして、第3には、仲間なかで「実践記録」から(共通)の値打ちが掘り起こされ、共有(財産)(一般化)となることがめざされる、とした。

(3) 全員参加の授業5原則について、簡潔に説明せよ。

授業内で単に読み書きをさせるのではなく、お互いの反応を促し、空白の時間をつくり出し、待つ、教育全体を見る、学習形態工夫する、の5つに基づき、「人と関わり」「人と交わり」授業を展開していくための原則である。

(4) 「最近接発達領域」「学校スタイルとしてのオープンスクール」「(教育的)鑑識眼」のうち1つについて簡潔に説明せよ。

### 最近接発達領域

子ども同士の学び合いを水平性、教師という熟達者との交渉による科学的概念の習得を垂直性と呼ぶ事で、現実と潜在的の発達水準との差を表し、最終的には、個々の他者による「足場」をくずしていくことが発達促進という考えである。

\*\*）確認問題 02 を自己評価し、  
気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5段階自己評価 ( 3 )

■ 授業5原則の5つはバランスをとることが重要だが現実では、どれかが重要視され、どれかがおぼろげなように感じられる。ゆえに、このようなおぼろげな感じをいかに克服していくかが重要だと感じる。

